

まつののを

第五十二号



年頭のご挨拶

宮司 生寫 經和

謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年は今和七年、乙巳（きのとみ）の歳の初春を迎えました。

昨年は能登半島の大地震に始まり、国内では様々な自然災害また夏の猛暑・酷暑に続く異常気象と枚挙に暇がない混沌とした一年でありました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げる次第です。

その反面、少しずつではありますが、社会的・経済的にも、また人々の日常生活にも落ち着きを取り戻しつつある感じがいたします。同時に全国の神社においても、毎年の祭祀祭礼を始め恒例の神振行事などが復旧・復興の兆しを見せてきたことは喜ばしい事であると存じます。

当社におきましては、四月二十七日より六月二十三日までの間、京都文化博物館において、「松尾大社展―みやこの西の守護神」と題して展覧会を開催いたしました。京都府を始め多くの行政機関・企業・団体の協力を得て、一千三百年を越える当社の歴史の中で培われてきた平安初期の作である重文・御神像三軀を始め、数多の社家文書、近年新発見の中世文書など、また累代の神宝と歴史史料・美術工芸品を一堂に展示することが叶いました。併せて「お酒の神様」として信仰されてきた醸造に関する史料なども展示し、多くの人々に改めて当社の悠久の歴史と文化に触れていただけた事は望外の喜びでありました。

さて本年、令和七年の干支は「乙巳（きのとみ）の歳であります。干支一廻り前の平成二十五年は、第六十二回式年遷宮の歳でありました。二廻り前の巳年は平成十三年、当社にとっては御鎮座一千三百年の佳節でありました。当時の佐古一洌宮司は、社報の「年頭ごあいさつ」で「説文」より引用し、「巳は巳なり。四月陽氣已に出、陰氣已に藏れ、万物見る」として、陽氣一色で陰氣は全くかくれて万物が表面に現れ出る象とか。そして巳は社（さいわい）とも読み、縁起の良い語とされかつ「不死と再生のシンボル」が蛇ともされている」と記されています。

令和七年が平和に満ちた平常を取り戻す蘇りの歳なることを願ひ、あわせて皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。迎春のご挨拶とさせていただきます。

令和七年 春恒例祭典予定

一月 一日(水)	歳旦祭	(午前六時)
一月 三日(金)	元始祭並びに干支祝寿祭	(午前九時半)
一月 七日(火)	昭和天皇祭遙拝式	(午前九時半)
一月十五日(水)	古神札焼納祭	(午前九時半)
二月 二日(日)	節分祭	(午後一時半)
二月十一日(火)	紀元祭	(午前十時)
二月十七日(月)	祈年祭	(午前十時)
二月二十三日(日)	天長祭	(午前十時)
三月二十日(木)	春季皇霊祭遙拝式	(午前九時半)

令和七年 正月奉納行事 (拝殿)

一日(水)	金剛流社中謡曲・仕舞奉納	(午前十時)
二日(木)	琴古流尺八吹奏奉納	(午前十一時)
三日(金)	竹本大亀献書	(午後一時)

干支「巳歳」祝寿祭のご案内

祭典日時 一月三日(金) 午前九時半
初穂料 二千元)

※元始祭に併せて巳歳生まれの皆様方のご健康をご祈願致します

※祭典に参列ご希望の方は九時迄に受付にお越し下さい

※お申し込みの方には特製干支守りを授与します

※ご祈願の受付は十五日迄致しております

牛玉寶印授与

牛玉寶印とは、古く鎌倉時代より疫病・災厄除の御札として各社寺より頒布せられていたもので、現在の神札の原典とも言われるものです。当社では、神使の亀の図柄を用いて作られています。

古記録によると、桃山時代、神官が、故有つて死罪を申し渡されましたが、その時、晴天からにわかには雷鳴がとどろき、一枚の松尾社牛玉寶印が飛来して死罪を免れたという記録が残されています。

江戸時代には正月各戸にこの寶印が頒布され、明治初年まで続いています。特に神官が頒布するものは朱を用い、他の寺院は墨を用いて頒布することになっていました。

今回「松尾社大社展」の展示準備過程において版木が発見され、これを起に百五十年ぶりに再び頒布する運びとなりました。

限定頒布ですので、正月御参拝の折にはぜひ御覧下さい。

牛玉寶印 初穂料 二千元

酒ワングランプリ

本年の酒ワングランプリの開催日が決定致しました
4月13日(日)に二部制で開催されます
詳しくは京都リビング新聞やホームページにて二月末頃に発表致します

節分祭 2月2日

10時頃～12時頃 石見神楽（種神楽）奉納

午後1時30分 節分祭祭典

本殿での祭典後、引き続き拝殿にて行事を行います

（一回目豆撒き）

鳴弦引目神事（めいげんひきめしんじ）

※宮司が弓を構え弦を三度弾く

四方奉射神事（しほうほうしゃしんじ）

※宮司が拝殿の四方より鏑矢を射る

福男・福女による福豆撒き

（二回目豆撒き）

15時30分 行事内容は一回目と同じ

福引き券付福豆授与

初穂料 300円

1月31日より授与所にて福引き券付の福豆を授与しています

三日間 その日の定数が無くなり次第に終了と致します

2日当日の福引きは お一人様1回限りで午後1時～5時の間のみ有効です



参進・鬼の舞



鳴弦引目神事



福豆撒き



石見神楽奉納

職員辞令（令和六年）

◆十月一日

巫子見習 木尾 優里

巫子見習 松田 凜

巫子を命ずる

◆十月三十一日

権禰宜 工藤 瑞剣

願いに依り権禰宜を免ずる

第37回 松尾大社写真コンテスト 入賞作品

- ◎応募点数
103点
- ◎審査日
令和6年10月17日
- ◎審査員
水野克比古
生寫宮司
飯田権宮司
進藤権祢宜
竹内囑託
上野氏子青年会々員



「山吹と神輿」

松尾大社賞

フネカワフネオ



「大役にのぞむ」

塩見 芳隆

氏子青年会賞

- 特選
 - 谷口 敏
 - 金原 郁雄
 - 中野 一男
- 準特選
 - 大鞍 謙一
 - 入船 浩之
 - 村田 寛明
 - 森 豊彦
 - 長谷川 勉

八朔祭献灯子供絵提灯 松尾大社賞受賞作品

幼稚園の部



洛西せいか幼稚園 中西 若菜

小学校低学年の部



檜原小学校3年 藤城 希音

小学校高学年の部



広沢小学校5年 森 心春

社務日誌抄

令和六年



九月

- 一日 八朔祭執行
子供絵提灯展表彰式開催
- 八日 下桂御霊神社初秋祭執行
- 一七日 観月祭執行
- 一三三 秋季皇霊祭遙拝式執行
神社関係物故者慰霊祭執行
綱敷行衛天満宮献灯祭執行

十月

- 三日 月読神社例祭執行
- 一〇日 徳大寺三ノ宮神社例祭執行
- 一日 上桂御霊神社出御祭執行
- 二三日 郡衣手神社例祭執行
等持院六請神社出御祭執行
嵯峨野斎宮神社例祭執行
上桂御霊神社例祭執行
- 一五日 松悠会役員会開催
- 一六日 献茶会役員会開催
- 一七日 神嘗奉祝祭執行
写真コンテスト審査会開催
- 一九日 拔穂祭執行
- 二〇日 千代原春日神社例祭執行
上野産土神社例祭執行
- 二五日 西京区遺族会慰霊祭執行

十一月

- 二七日 等持院六請神社例祭執行
- 九日 神ノ木弁天社火焚祭
- 一〇日 朱雀松尾總神社火焚祭執行
- 一日 上卯祭執行
茂山社中狂言「福の神」奉納
- 一七日 唐橋道祖神社火焚祭執行
- 二〇日 写真コンテスト表彰式開催
- 二二日 松悠会総会開催
- 二三日 新嘗祭執行
綱敷行衛天満宮火焚祭執行
- 二四日 上野龍王明神社火焚祭執行
等持院六請神社火焚祭執行
松尾しんこう会開催
- 二五日 拝殿大絵馬設置
神習会・敬神婦人会合同研修旅行実施

十二月

- 一日 高田三ノ宮神社火焚祭執行
- 四日 川島大宮社新嘗祭執行
- 八日 下桂御霊神社新嘗祭執行
上桂御霊神社新嘗祭執行
神習会役員会開催
- 一二日 献灯会役員会開催
- 一五日 境内諸末社例祭執行
- 二六日 お煤祓式執行
- 三一日 大祓式、除夜祭執行

奉納品紹介

(敬称略)



- | | |
|-------------|-----------------|
| 杉玉 | 三体 |
| (西京区) | 松尾大社杉玉会 |
| 紅白幕 | 一 張 |
| (西京区) | 木村クリーニング店 |
| 懸崖菊 | 二 鉢 |
| (西京区) | 辻井 健 |
| 懸崖菊 | 四 鉢 |
| (向日市) | 清水園芸 |
| 岩島精麻 | 一 束 |
| (東京) | (財)日本民族工芸技術保存協会 |
| 「神像の研究Ⅱ」 | 一 冊 |
| (宇治市) | 伊東 史朗 |
| 「酒 S A K E」 | 一 冊 |
| (東京都) | ウエノグルメ |
| 「神園」第三十二号 | 一 冊 |
| (東京都) | 明治神宮国際神道文化研究所 |

令和六年

奉幣使奉仕者

(敬称略)



八朔祭 (九月一日)

松尾地区

新嘗祭 (十一月二十三日)

下桂地区

- | | |
|----|----|
| 笹川 | 克郎 |
| 河原 | 英昌 |
| 荒木 | 康俊 |
| 中村 | 瑛治 |
| 井上 | 啓史 |
| 中路 | 裕久 |

令和7年 献茶会開催日程

1月12日(日) 裏：入江宗秀社中奉仕
2月9日(日) 表：大島多恵子社中奉仕
3月2日(日) 裏：裏千家合同社中奉仕
4月6日(日) 表：山室律子社中奉仕
5月4日(日) 裏：池田宗惇社中奉仕
6月1日(日) 表：表千家合同社中奉仕
7月 休 会
8月 休 会
9月14日(日) 表：千葉宗立社中奉仕
10月5日(日) 織：宮崎式庵社中奉仕
11月2日(日) 表：桐畑沙充子社中奉仕
12月7日(日) 裏：杉本宗和社中奉仕

- 茶 席 松尾大社客殿
- 時 間 午前9時～午後3時迄
- 会 費 年会費 7,000円
当日のみ 1,300円

※一年間の御茶席券は受付又は社務所にてお求め下さい

令和7年 亀の市開催日

3月9日(日)
4月6日(日)
5月5日(祝)
6月8日(日)
7月13日(日)
10月5日(日)
12月14日(日)

※1月・2月・8月・9月・12月は中止

◎出店料 1ブース 3,000円
(間口2.2m × 奥行2.5m)

※食料品は出店出来ません

※雨天中止

◎お問い合わせ TEL 075-871-5016

◎亀の市応募方法

往復ハガキの往信葉書には、住所・氏名・年齢・電話番号・出品物・出店希望月をお書き下さい。

返信ハガキの表にはご自分の住所・氏名をご記入下さい。

開催日の2週間前必着でお送り下さい。

◎申込み先

〒616-0024 京都市西京区嵐山宮町3
松尾大社氏子青年会「亀の市」係 宛

昨年十二月にシリアのアサド政権が崩壊しました。親子二代で五十年以上シリアに君臨していた独裁政権の終焉です。これでシリアに平和な日々が訪れるかどうかは疑問ではありますが、多くの自国民を虐殺してきた政権が倒れた事自体は目出度い事ではあります。

中東の複雑さは地域ごとに異なる部族がそれぞれ力を持っており、そこに宗教の違いがあり、それらが複雑に絡み合っていて、意思統一した国家運営をするのはなかなか容易では有りません。

宗教戦争や宗派間の争いが無い日本ではこれらの事はなかなか理解しがたい部分があります。

しかし我が国でもかつては宗教戦争が有りました。京都で起こった「天文法華の乱」がもっとも有名です。

比叡山延暦寺の僧兵が京都の町中に在った日蓮宗の二十一寺を焼き払い、京都から日蓮宗を追放したのです。当時の寺院は僧兵と呼ばれる軍隊をそれぞれが持っていました。その為になにか問題が起こればそれぞれ焼き討ち合っていました。

それを解決して宗教改革を行ったのが織田信長でした。信長が天下統一のため京都を平定するのを妨害しようとした叡山を焼き討ちしたり、本願寺と十年にわたる戦いを行ったのも、全て宗教から武力を分離する事を目的として行われたもので、彼は叡山や本願寺そのものを滅ぼそうとしたり、布教そのものを禁止したりはしていません。

その結果日本では宗教界での争いは論争が主となり、武力を用いる事が無くなったのです。

(伴)

青天の霹靂

昨年十月二十七に行われた第五十回衆議院議員選挙において、自民公明連立政権は過半数割れとなる大敗を喫した。

安倍政権時代から絶対的安定を維持してきたが、自民党総裁選で石破新総裁が誕生した経緯とその後の支持率を見れば、ある程度予想出来た事では有ったが、完全に過半数割れになるとは思わなかった。

その結果立憲民主が議席を増やせたが、政党支持率を見れば国民に支持された結果でない事は明らかで、自民党自ら醜態をさらして大転けしただけの話である。

そんな中で国民民主が大幅に議席を増やした事が、今回の選挙の唯一の朗報なのかもしれない。その影響で税金の基礎控除を引き上げる議論が国会でされるようになり、多くの国民が税について関心を持つことになったのだから。

そして、もう一つの選挙が本当に思いもよらない「どんでん返し」で注目を浴びた兵庫県知事選挙である。

斎藤氏が兵庫県知事に初当選した時に、敵中に落下傘降下するようなものであり、苦勞するだろうなと思ったことは今でも覚えている。

当時大阪では維新が大躍進してその近隣府県にも影響が波及し始めていた頃だったので、維新推薦で当選したのはいいけれど四面楚歌でまともな活躍が出来るだろうかとも考えた。当然の様にサボタージュや嫌がらせが有ることは予想出来たからである。

そして今回の知事辞職に至るまでの報道を聞くにつれ、危惧していた事が起こったと言うのが最初の印象であった。

過去政治を変えようと理想を持って知事や市長に当選しても、色々な妨害やスキャンダルで辞職すると言う事例が有ったから、今回の事

は起こるべくして起こったと思わなかった。

どんな地域でも長年同じ人間の政権が続けば、必ずそこに利害関係が出来上がり、それを護ろうとする勢力と、潰そうとする勢力が生まれるのが人間の社会と言うものである。三人居れば派閥が出来ると昔から言われてきたのはある種の真実ではある。

ただ今回の事が今までと違ったのはSNSの存在であった。

あまりにも執拗な斎藤潰しを各種メディアが繰り返したために、反対に疑問を持つ人々が増えていき、それに対してユーチューブ等で報道に疑問を投げかけたり、また擁護する人達も出てきて段々と風向きが変わって行ったのが兵庫県知事選挙の大きな特徴であった。

そして、多くの人々の中で大手メディア離れが起こっていると言う事を如実に表したのが今回の選挙結果であった。

大手メディアにとっては正に『青天の霹靂で』自身の影響力の低下を痛感させられたことであろう。

かつて大手新聞や各種メディアは、自分達こそが人々を報道で思い通りに操る事が出来るのだと慢心していた時期があった。

しかし、今は色々な立場の人達がユーチューブ等で情報発信をする事が出来る世の中となり、報道の偏向や間違いをどんどん指摘され「マスコミ」と揶揄される様になっていた。

そんな時代に今まで通りの手法が通じる訳がないのだが、それに気付かないふりをして耳を塞ぎ目を閉じて、斎藤叩きをしているというのが大手メディアの現状であろう。

『過ちては則ち改むるに憚ること勿れ』という先人の言葉が、虚しく響く今日この頃である。

(伴)



松尾大社 神前結婚式



～麗しき 日本の結婚式～

初めてのご見学 挙式のイメージを広げるお手伝いを

ブライダルフェア開催

2 / 22 (土) 23 (日)

第1部 10:00～

第2部 12:00～

所要時間：約3時間

婚礼料理試食会

人気の婚礼料理 ワンプレートを無料でご試食

【ご予約優先・入場無料】

※ご試食ご希望の方は 必ずご予約ください



神前 模擬結婚式説明会

初めてのご見学 結婚式の流れについて詳しくご説明

ウェディングフォト

挙式当日の記念写真や前撮りロケーションなど フォトで織りなす和婚式をご紹介します

おかつら & 花嫁衣裳ご試着

あなたに似合う憧れの和装花嫁スタイルで、新たな発見に出会える
和婚でもドレスを着たい！を叶えたい方は、ご試着会へのご招待

婚礼料理・装花 (テーブルコーディネート)

人気のお料理ワンプレートを無料でご試食、料理担当と直接のご相談
“宴”を彩る 和洋を問わずご希望にあわせた装花をご紹介します

相談会

結婚式のお悩みやご予算など、お二人らしいおもてなしをご提案
挙式のみの方、ご家族で過ごす会食やご披露宴まで、お気軽にご相談ください

※当日 結婚式を仮予約の方には割引特典もご用意